

第 1 0 石油コンビナート等防災区域

第 10 石油コンビナート等防災区域

1 位置図(H30.4.1)



2 県の防災対策

- ア 広島県石油コンビナート等防災本部幹事会の開催（毎年度）
- イ 広島県石油コンビナート等防災計画の修正（毎年度）
- ウ 石油コンビナート等総合防災訓練の実施（隔年）

近年の実施状況は次のとおりである。昭和 44 年の訓練開始以来、平成 30 年は第 24 回である。

平成 30 年 11 月 4 日	大竹地区
平成 28 年 10 月 25 日	江田島地区
平成 26 年 10 月 29 日	福山地区
平成 24 年 10 月 30 日	大竹地区
平成 22 年 11 月 26 日	能美地区
平成 20 年 11 月 21 日	福山地区
平成 18 年 10 月 31 日	大竹地区
平成 16 年 10 月 14 日	江田島地区
平成 14 年 10 月 12 日	福山地区
平成 12 年 10 月 12 日	大竹地区

平成 10 年 10 月 13 日 能美地区

平成 8 年 11 月 8 日 福山地区

平成 6 年 10 月 28 日 大竹地区

エ 防災本部の協議会設置

福山・笠岡地区については岡山県と、また、岩国・大竹地区については山口県と防災本部の協議会を設置し、防災計画の修正及びその実施の推進に当たっている。

3 事業所の防災対策

次の 2 地区に特別防災区域協議会が設置され、活発に活動している。

岩国・大竹地区 昭和 53 年 6 月 1 日設置

福山・笠岡地区 昭和 58 年 10 月 5 日設置（昭和 63 年 4 月 1 日に「福山地区」から名称変更）

4 広島県の特別防災区域の概要

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

区域名	福山・笠岡 (福山地区のみ)	江田島	能美	岩国・大竹 (大竹地区のみ)	計
指定年月日	昭和 62 年 3 月 27 日	昭和 51 年 7 月 9 日	昭和 51 年 7 月 9 日	昭和 51 年 7 月 9 日	—
消防機関名	福山地区消防組合 消防局	江田島市消防本部	江田島市消防本部	大竹市消防本部	3
市町村名	福山市	江田島市	江田島市	大竹市	3
区域面積 (万㎡)	941	8	39	239	1,227
特定事業所	3	1	1	5	10
レイアウト 事業所	・JFE スチール(株)西日本製鉄所(福山地区) 計 1	—	—	・三菱ケミカル(株)大竹事業所 ・(株)ダイセル大竹工場 ・三井化学(株)岩国大竹工場 計 3	4
第 1 種 事業所	・ヤスハラケミカル(株)福山工場 計 1	・伊藤忠エネクス(株)江田島ターミナル 計 1	・鹿川ターミナル(株) 計 1	—	3
第 2 種 事業所	・日本化薬(株)福山工場 計 1	—	—	・日本製紙(株)大竹工場 ・大竹明新化学(株) 計 2	3
石油の貯蔵 取扱量 (千キロリットル)	140	74	955	175	1,344
高压ガスの 処理量 (十立方メートル)	735	—	—	172	907
特別防災区域 協議会の有無	有	無	無	有	—

5 石油コンビナート等事故件数

年	地区名	福山・笠岡 (福山地区のみ)	江田島	能美	岩国・大竹 (大竹地区のみ)	合計	事故種別			
							火災	爆発	漏洩	その他
平成 21年	件数	4		1	1	6	2		4	
	死傷									
平成 22年	件数	1			8	9	5		4	
	死傷									
平成 23年	件数	1		2	18	21	3		16	2
	死傷									
平成 24年	件数	3			10	13	7	1	5	
	死傷				傷3	傷3				
平成 25年	件数				7	7	1		6	
	死傷				傷1	傷1				
平成 26年	件数				12	12	4		6	2
	死傷									
平成 27年	件数	1			10	11	4		7	
	死傷									
平成 28年	件数				11	11	1		10	
	死傷									
平成 29年	件数				7	7	2		5	
	死傷									
平成 30年	件数	4			7	11	6		4	1
	死傷				傷1	傷1				
合計	件数	14	0	3	91	108	35	1	67	5
	死傷	0	0	0	死0傷5	死0傷5				

6 最近の事故の状況

平成30年の石油コンビナート等の事故は11件である。

平成21年から30年までの最近10年間で石油コンビナート等の事故は108件発生している。これを事故種別で見ると図のとおり、火災及び漏洩事故がそのほとんどを占めている。

